

Corporate Report 2023

三井住友建設 コーポレートレポート 2023

はしも、 まちも、 ひとも。

三井住友建設は、安全で快適な社会を実現するために、
「くらしをささえるものづくり」を続ける総合建設会社です。

お客様の想い、くらす人の想い、家族の想い、
私たちの想い、地球の想い。

託された大切な想いひとつひとつをたばね、
いきいきとした明日のくらしにつなげたい。

橋をわたり、街をあるき、大切な人とすごす。

そんな日々のくらしがいつまでも続くよう、豊かな未来に
つながるものづくりに全力で取り組みます。



CONTENTS

価値創造ストーリー

- 2 理念体系
- 4 価値創造の歴史
- 8 価値創造プロセス
- 10 当社経営資本と2030年に向けた取り組み
- 12 外部評価
- 13 2030年の将来像
- 14 中期経営計画2022-2024(2023年5月修正)
- 17 財務戦略
- 18 企業価値向上に向けて
- 19 社長メッセージ

特集

- 24 ダイバーシティ&インクルージョンの実現に向けて

価値創造の実践

- 26 三井住友建設の事業
- 28 土木事業部門
- 30 建築事業部門
- 32 新規・建設周辺事業部門
- 34 海外事業部門
- 37 フィナンシャルレビュー

重要課題への取り組み

- 40 三井住友建設のSX
- 42 マテリアリティ・KPI
- 44 マテリアリティ1 持続可能な社会の実現
- 47 マテリアリティ2 安全で快適な社会の実現
- 48 マテリアリティ3 魅力ある職場環境実現と人材の確保・育成
- 57 マテリアリティ4 経営基盤の強化

事業活動の前提となる重要課題への取り組み

- 59 コーポレートガバナンス
- 64 コンプライアンス・リスクマネジメント
- 70 役員一覧

データセクション

- 72 財務情報
- 76 非財務情報
- 78 グループ企業
- 80 会社概要
- 81 株式情報

コーポレートメッセージ(左記)の写真について

(左): 深山トンネル
(中央): アリアタワー聖蹟桜ヶ丘ブルーミングレジデンス

編集方針 当社は、財務諸表には記載されない非財務系のESG(環境・社会性・ガバナンス)に関する年次の取り組みを広く理解していただくことを目的として2006年度より、CSRレポートを発行してきました。2015年度からは、当社のすべてのステークホルダーとの双方向コミュニケーションツールとして活用することを目的として、従来のCSRレポートに経営成績・経営戦略・事業概況などの財務系情報も加え、当社の企業価値向上に向けた取り組み全般を取りまとめた「コーポレートレポート」を発行しています。

報告対象期間 2022年4月1日～2023年3月31日
(一部対象期間後の報告も含む)
報告対象組織 三井住友建設株式会社および連結子会社
参考にしたガイドライン 国際統合報告フレームワーク(IFRS財団)、
価値協創ガイドランス
発行時期 2023年10月

